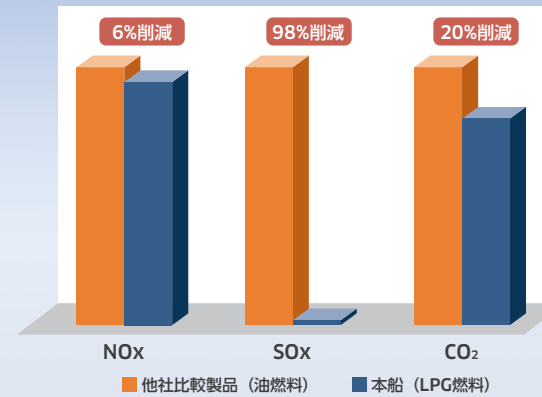


LPG燃料推進 大型LPG船

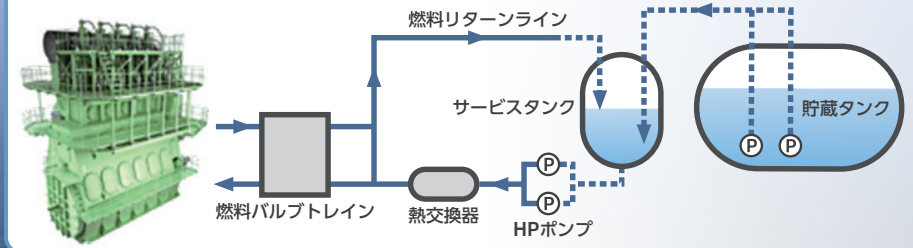
LPGを燃料とする推進システムを実装し、
世界トップクラスの環境性能を実現

LPG燃料の安定供給のため、燃料の流量・圧力・
温度を制御する循環供給システムを開発し、LPG
燃料推進システムを実現。

LPG燃料化及び船型改良により、NOx、SOx、CO₂
排出量を他社製品よりそれぞれ約6%、98%、20%
削減。



推進システムのフロー図



2021

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2018年：初回登録



製品紹介

LPGと油とで切換え可能な二元燃料低速ディーゼル機関ME-LGIPエンジンの採用により、LPGを主燃料とすることで大幅な環境負荷低減を達成した大型LPG船

特長

- クリーン燃料であるLPGを燃料とするLPG燃料推進システムの実装
- 船型改良、各種省エネ付加物の装備、新型エンジンの採用による、他社建造のLPG船を凌駕した推進性能、環境性能
- 従来船から全長・船幅をえることなく、カーゴ容積を82,200m³から84,000m³へ増加